

かんきょう高原いんぷお

Vol.19

平成19年1月発行

発行者：株式会社神岡衛生社 電話：0578-2-0337 E-mail：jimu@k-eisei.co.jp



2007

新年あけましておめでとうございます。
皆さま方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい平成十九年の初春をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

当社の業務を遂行するにあたりましては、昨年もあたたかいご理解とご協力を賜り、また沢山のご用命を頂戴し、心から深く感謝申し上げているところでございます。

本年も更に努力し、皆さま方のご要望にお応えできますよう、サービス、技術の向上を図って参る所存でございますので、何卒倍旧のご愛顧を賜りますことをお願い申し上げます。

さて、アメリカの地球物理学者によりますと、北極の氷が大変な勢いで溶けつつあり、従来の四倍のスピードで減少し、スーパーコンピューターで試算した結果、二〇四〇年にはほぼ消滅してしまうだろうとのことであります。

自然界がおかしいと感じている矢先、なんとシヨツキングなニュースではないかと思えます。豪雨や豪雪、そして竜巻など、二酸化炭素を際限なくまき散らす人間への自然の報復といっても過言ではありません。

自然の形態が狂うということは、即われわれの生存にも直接影響があることは明確で、近い将来、北極の氷が溶けてしまうという事態が予測される現在、私たち一人一人が、自分のこととして環境問題を捉え、今なにか出来るのか、何をしなければならぬのか、真剣に考える必要があります。

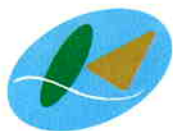
私ども神岡衛生社の社員一同は、地域における環境の先駆者としての責任と使命を自覚し、今年も精一杯力を尽くして参ります。

本年も何卒よろしくご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。皆さま方のご多幸とご健康をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社神岡衛生社

代表取締役社長 川上 幸延

お気軽にお問い合わせ下さい。



株式会社 神岡衛生社 TEL0578-2-0337
FAX0578-2-5846

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ（一般家庭・事業系）
 - 産業廃棄物収集・運搬
 - 浄化槽清掃
 - 浄化槽保守点検
 - 浄化槽工事
 - 上下水道設備工事
 - 下水道施設維持管理（終末処理場・管路）
 - 衛生設備維持管理
 - ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
 - 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
 - 環境衛生関連商品販売
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。

URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

今年も頑張ります

業務課



新年明けましておめでとうございます。

私たちは、し尿の汲み取りと浄化槽の清掃を計画的に行えるよう心がけておりますが、年末など集中する時期にはご迷惑をお掛けする場合がありますので、ご都合などお気軽にご相談ください。下水道への切替えも多くなってきましたが、皆様方のご要望に添うよう一生懸命努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

設備課



設備課は日常生活では欠かせない水周りの修繕や新設、下水道へのつなぎ込み工事などを行っています。

現在、当社ではISO9001の認証取得を目指しておりますが、設備課では「顧客満足度の向上」を目標に一人一人が個人のレベルアップに努力し、住民の皆様にご快適で住みよい生活環境を提供できるよう努めております。

今年も下水道が供用開始になる地域があると思っておりますが、つなぎ込み工事を予定されているご家庭がございましたら是非当社をご用命下さい。

廃棄物課



あけましておめでとうございます。

日頃はゴミの分別収集にご協力いただき有難うございます。住民の方々一人一人の努力が実を結んで、綺麗な地域づくり、また環境衛生の向上へと繋がっていくように私達も皆様と一緒に取り組んで頑張っていきますので、宜しくお願いいたします。

メンテナンス課



私たちメンテナンス課は、浄化槽、下水道、廃棄物処理場の維持管理及び貯水槽清掃、床清掃などのビルメンテナンス業務を行っております。

昨年3人の社員が入社し、若手からベテランまで全員「プロの仕事」を提供させていただくよう、より一層の技術の向上を目指し、より良いサービスを心がけ、努力したいと思います。

分析課



環境分析室は、飛騨地域の下水道・浄化槽・高架水槽、及びプール・河川などの水質分析を行い、計量証明書を発行することを仕事としています。平成18年1月には温泉成分分析機関として県の登録を受け、温泉分析も行えるようになりました。

一人一人が、水と環境のスペシャリストとなれるよう、技術の向上に努め、社会的信頼を損ねることがないように、公正かつ適正な計量の実施に努力していききたいと思います。

事務管理課



私たちは地域の皆さまと直接仕事の現場でお会いすることはありませんが、お客さまや取引先の方と現場を結ぶ窓口として、お電話くださった時や来社された時に、気持ちよく感じていただけるよういつも心がけていきたいと思っています。また、よりよいサービスをお客様に提供できるようにするためのシステム作りにも取り組んでいます。ご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

特別寄稿

13



柏谷 志郎 (かすやしろう)

岐阜大学地域科学部教授 医学博士

正月に思う 「アレルギーに良い生活」

新年おめでとうございます。お部屋には鏡餅や、ひょっとすると南天の実などが飾られているかもしれませんね。実は、この南天の実からアレルギーをおさえる薬が発明されました。岐阜での出来事です。魚を皿に盛る時、よく南天の葉などを下に敷いたり、実が添えられたりすることからヒントを得たと聞いています。リザベンという名の薬ですが、アレルギー・喘息治療の一時代をつくりだしました。これは、アレルギー反応の比較的最後の方の部分を抑えます。マスト細胞からヒスタミンなどのアレルギーを引き起こす物質が放出されます。このマスト細胞の膜を安定させ、放出しにくくするのがこの薬の役目です。同じような作用を持つザジテンと言う名の薬とともに、広く使われ、効く人には救いでした。今でも使用され続けています。リザベンは、新たにケロイドに効くとの作用も発見され、こちらの治療にもよく使われています。

私は、花粉症にリザベン点眼薬を好んで処方しています。自分で使用し良く効いているのも理由の一つです。症状が強ければステロイドホルモンを含んだ点眼薬が必要となりますが、感染症や緑内障などの副作用も心配になります。軽いうちはリザベンを日に数回きちんとさすのが良いでしょう。副作用の心配もありません。

ところで、この春の花粉の飛散はかなり少ないと予想しています。今回はヨーグルトによるアレルギーの予防について書こうと思います。

コラム AQUA LOGIC

このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつまままに書き綴っていきます。

「水槽内は小さな自然」

みなさんの中にも水槽で魚や水生動物を飼ったことがある人はたくさんいると思いますが、あれって小さな自然(生態系)なんです。

生き物というのは、何か餌を食べて生きています。食べたなら排泄もします。でも、ずっとこのサイクルでいくと、どんどん水槽内の水は汚れていきます。もちろん水換えもしますがそれだけではきれいな水は維持できません。これを補っているのが微生物です。微生物が生き物の排泄物や水中の有機物などを分解して水を浄化してくれているのです。でも微生物の浄化能力にも限界があります。一定量を超えてしまうと処理出来なくなるんです。

大切なのはバランスです。そんなことを思いながら、僕もせっせと我が家の水槽掃除をしています。家庭から出る生活排水は最終的には海へと流れていきます。海は生命の源、その海をきれいに保っていくのは今生きている人間の使命だと思うんです。そのためにはみなさん一人一人の意識が大切です。

今いる子供達、今から生まれてくる子供達にきれいな海を残してあげたいですね。

古川 雅章 (ふるかわまさふみ)

神岡町出身 平成18年入社
メンテナンス課にて下水道維持管理に従事

中学生職場体験レポート

昨年10月11日・12日の2日間、北稜中学校の生徒4名が、職場体験に当社を訪れ、3つの部門に分かれて仕事を体験しました。

この職場体験を通じて、学校生活とはひと味違う経験ができたのではないのでしょうか。

職場体験の様子



水質分析

●米倉 祐真君

放流してよい水か確認するために定期的な水質検査を行うことはとても大変だと思いました。温泉の源泉など環境について色々分析していると思いました。



ごみ収集

●新井 杏一君

ごみが分別され運ばれていくことを知り、これからは分別を意識してみようと思いました。ごみの出し方に問題があることなど大変なところも感じました。



下水道処理施設

●菅沼 宏紀君

下水道から流れてくるごみの量に驚きました。魚なども流れてくるとわかりました。微生物が汚れを食べるという貴重な働きをしていることもわかりました。

●坂曾 淳君

水を浄化する順に検査をして、少しずつきれいになっていく様子を見て楽しかったし、すごいと思いました。ごみは環境を壊していることがわかりました。

しあわせになる条件 その1

「あなたは、今、しあわせですか？」友人からいきなりそう尋ねられて、一瞬戸惑いました。しあわせの定義なんてどこにもありません。けれど、少なくとも、グチや恨みを言い並べ、過去を悔やみ人のせいばかりしている毎日を送っているのは、しあわせとは言えないでしょうね。どんな状態におかれても、「よし」と、いつも前向きに明るく自分らしく生きて行くことが、しあわせに通じる道ではないかと思えます。

人は、環境適合動物です。環境の変化に合わせて、自らを柔軟に変化させて行く、しなやかさが必要とされます。では、どうすれば自分らしく、しあわせに生きることができるのでしょうか。それには、五つのポイントがあると思えます。

一つ目は、心が安定し穏やかでいられること 二つ目は、身体が健康で、生気がみなぎっていること 三つ目は、人間関係が良く支え合っていること 四つ目は、経済的に恵まれ、安定していること 五つ目は、全てがスムーズに流れ、運が良いこと

この五つのポイントには、順序性があります。今回は、まず心について考えてみたいと思えます。心がしあわせでいられるには、次のことに心がけましょう。

1.何が起きても、自分にとって必要なことと思うこと 2.よくない話や他人のうわさ話をしないこと 3.自分と合わない人と、無理につき合おうとしたり、合わない仕事を引き受けないこと 4.こだわりを捨てて、気楽に生きること 5.自然に触れ、学ぶ機会を多くもつこと

いかがでしょうか。あなたは、幾つできているでしょうか。全ての不幸の原因は、こだわりにあります。個性とこだわりはちがいます。これだけ多様な価値観があり、情報が乱れ飛ぶ過剰付加環境の中において、こうあらねばならないというこだわりは、自分自身の心を固く凍らせてしまい、やがて、心の安定を失うことにつながって行きます。

今日から何があっても「いいじゃない」と明るく受け止められる自分づくりに心がけましょう。



尾山敦子
キャリアカウンセラー

ロハスのすすめ

「ロハス」という言葉を聞いたことはありますか？これは効率や目先の損得ではなく、健康的な生活を優先して人類と地球が共に栄え続けようとするライフスタイル(英語のLifestyles of Health and Sustainability の略=Lohas)と、そのようなライフスタイルを自分自身のペースで楽しもうとする人達のことです。“Sustainability”(サステナビリティ)とはちょっと見慣れない言葉ですが、これは「持続可能な」という意味で、将来にわたって環境を守ろうといった意味合いで使われます。

なんだかつつきにくそうですか？でも、日々の暮らしの中にもロハスは転がっています。例えば、こんなことしていませんか？

- ◆自分で作った野菜を自分で食べる
- ◆有機栽培や無農薬の野菜を選んで買う
- ◆環境に貢献している会社の製品を買う
- ◆電気のスイッチはこまめに消す
- ◆いらなくなったモノをリサイクルに出す

また、健康には身体だけでなく精神的な意味もあることから、瞑想などで自分を見つめ直すことも、広くはロハスに含まれるようです。

一人ひとりが環境を守るうとする心がけは大切でしょう。でも、自分自身が健康でなければ環境どころではありませんし、精神的に豊かな生活も送れません。自分の健康な生活の延長線上に地球環境への貢献が繋がっている、それがロハスともいえます。幸い、私達が住む高原郷には自然が満ちています。その点では都会に住む人よりはロハスには近いかもしれません。ただ、逆に、自然がすぐそばにあるだけに、そのありがたさを忘れがちのような気がします。環境のことを気にかけて自分も小さな幸せを感じることが出来るロハス、始めてみませんか？

上宝町・奥飛騨温泉郷 クリーン作戦

旧上宝村役場主催の時から行われているクリーン作戦、今年で10年ほどたちました。これまで上宝村の地域住民が一丸となって、住んでいる地域をきれいにしようと年2回(4月と11月)行われてきました。高山市に合併してからは、この行事をNPO法人神通砂防の方が引き継ぎクリーン作戦を計画し、実施を呼びかけています。上宝町・奥飛騨温泉郷の地域住民は約4,000人で、各町内会ご協力のもと、毎回約1,500人の参加があり、地域挙げての清掃活動となっています。

開始当初、可燃ゴミ2,500kg、不燃ゴミ2,500kg、粗大ゴミ1,500kg、産業廃棄物では処理困難物や費用のかかるタイヤなどが多く回収されていました。今回は可燃ゴミ500kg、不燃ゴミ550kg、粗大ゴミ520kgが回収されました。回収されるゴミの量は、開始当初から見ると年々減少傾向にあり地域の方々の努力が実り始めています。

当社は、行政よりゴミの収集運搬業務委託を受けている関係で、2年前からNPO法人神通砂防の代表小池様より集めたゴミを高山市の処分場まで運搬する業務を依頼され、ボランティアで協力させていただいております。

上宝町



奥飛騨温泉郷



主催されているNPO法人神通砂防事務局の清水様はこのようにおっしゃいました。“ゴミを捨てるのは大人がほとんどで、特にタバコの吸殻や小さなゴミを簡単に捨てる人が多く見受けられます。これを見た子供がどこにでもゴミを捨てていいと思うようになります。大人は子供の見本になるよう、小さいことから気をつけるべきです。工事信号のかかっていた場所や待避所などに、大量の空き缶や弁当のからが投棄されています。上宝町・奥飛騨温泉郷の地域住民の皆様には、せっかく綺麗にしたわが地域をマナーのない人に汚されるのは腹立たしいことと思います。大量に不法投棄してあるものを発見した時は、高山市上宝支所に通報して下さい。現場確認し、悪質なものは警察立会いもなされます。面倒でもゴミ箱まで持っていきましょう。それが人としてのマナーです。また、ゴミを作った人の責任で持ち帰りましょう。”



分析技術者を募集します

当社では従来のし尿汲取り以外に、環境に関わるさまざまな業務を手がけています。このたび環境分析室での水質分析業務を強化するため、経験者、または化学系の学卒者を募集します。

神岡上宝の出身で、上記に該当し、Uターンを考えている方がおられましたら、ぜひご紹介ください。

業務:水質分析(排水、建築物飲料水、温泉など)
要件:水質分析経験者または化学系高校、高専または大学卒業者に限る。
資格:入社時点では不要。入社後に各資格を取得するための支援制度有り
選考方法:面接
待遇その他:当社規程により優遇いたします。
詳細はご連絡ください。



連絡先:株式会社神岡衛生社 担当:辻井

TEL 0578-2-0337



住宅医療廃棄物

住宅医療廃棄物とは聞きなれない言葉ですが、今後この廃棄物が大量発生し、処分が困難になる恐れがあります。11月8日付の「環境新聞」によりますと、在宅医療に伴って発生する注射針や付属チューブなどの医療廃棄物が不透明な処理状況になっているそうです。

高齢化の進展や病院のベッド数削減などの理由で、医療機関に入院せずに在宅で治療を行う件数は、1991年の約21万4千件が2003年には約71万3千件へと3倍以上に増加し、それに伴う住宅医療廃棄物も急増していると考えられ、この適正処理が大きな課題となっています。

さて、この住宅医療廃棄物とはどんなものなのかを説明してみます。

廃棄物は、大きく「産業廃棄物」「一般廃棄物」に分けられます。

産業廃棄物は事業活動に伴って発生する廃棄物のうち、汚泥や燃え殻など法律で品目と業種が指定されたものを言います。一般廃棄物は法律で「産業廃棄物以外の廃棄物」と定められており、事業活動に伴うものであっても法律で定められた品目以外のもは一般廃棄物になります。

産業廃棄物、一般廃棄物のそれぞれで、有毒性・爆発性などの危険があつて通常の廃棄物よりも厳重な管理が必要なものについては、「特別管理産業廃棄物」「特別管理一般廃棄物」と呼んで法律上特別な処理を行うことが決められています。これには医療行為の結果排出される注射針や付属チューブ、ガーゼなど病気に感染する恐れのあるものも含まれ、「感染性廃棄物」と呼びます。病院などの医療機関から発生するものは「(感染性)特別管理産業廃棄物」となり、許可業者が厳重な管理のもとで収集運搬し処分しています。住宅医療廃棄物は、発生源が一般家庭ですので「(感染性)特別管理一般廃棄物」となります。



一般廃棄物の処理責任は市町村にあります。特別管理一般廃棄物となると扱いに厳重な注意が必要で、大半の市町村では受入れを行っていません。受入れを行っている市町村でも種類の限定や消毒の義務付けなど対応がまちまちで、排出者の混乱を招いているようです。受入れをしていない市町村で発生した住宅医療廃棄物がどのように処理されているかは明確になっていません。日本医師会など各種団体では住宅医療廃棄物の取扱いを検討しているものの、適正処理は困難な状況です。

高齢化の進展により、廃棄物の処理に関しては、住宅医療廃棄物のみならずさまざまな問題が発生してくると予想されます。このような問題について、住民の皆さんと情報を共有できるよう、この紙面で逐次ご紹介していきたいと思っております。